

# 横須賀港



## 横須賀市港湾部

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地

☎046-822-4000

URL : <https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/sangyo/minato/kowan/>

## 1. 概況

### 〈沿革と現状〉

横須賀港は、慶応元年(1865年)、徳川幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に造船所と製鉄所の建設を開始したのがその起源である。その後、明治17年(1884年)に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展を遂げた。

終戦後、横須賀港は、昭和23年(1948年)1月1日に貿易港の指定を受け、昭和25年(1950年)の「旧軍港市転換法」の施行によって、横須賀市は「平和産業港湾都市」として新たな歩みを始め、横須賀港は、昭和26年(1951年)1月19日には港湾法の規定により「重要港湾」に、また同年9月22日には「準特定重要港湾」(国内産業開発上特に重要な港湾)に指定され、その後、昭和28年(1953年)4月1日に横須賀市が港湾管理者となった。

横須賀港の港湾整備は、昭和42年(1967年)9月に策定した横須賀港港湾計画に基づき整備を進め、その後、一部変更、改訂を重ねたのち、令和6年(2024年)6月に改訂を行い、現在に至っている。

横須賀港は、北は追浜地区から南は野比地区まで13の地区からなり、主な地区の特色は次のとおりである。

追浜地区は、本市最大の臨海工業団地が形成されており、港湾取扱貨物は、主に完成自動車や鋼材などが専用ふ頭で取り扱われている。

長浦地区は、かつて食糧輸入、自動車輸出、捕鯨基地などで賑わっていたが、現在は、主に砂利・砂、廃土砂を取り扱うとともに、防衛機能が集約統合されている。

本港地区は、在日米海軍基地及び海上自衛隊横須賀地方総監部をはじめとする自衛隊施設が集中している。

新港地区は、ソーラス条約に対応し、完成自動車の輸出や水産品(冷凍マグロ)の輸入・移入が行われているほか、クルーズ船の寄港の際にも利用されている。令和3年7月には北九州港との間に新たなフェリー航路が就航し、令和6年6月の港湾計画の改訂において、新たなふ頭の計画も位置付けられたことから、横須賀港のさらなる活性化が見込まれる地区である。

平成地区は、昭和59年度から平成4年度にかけて行った埋立事業によって誕生した。港湾施設は、砂利・砂等の建材を扱う岸壁及び荷さばき地などを整備し、その背後の埋立地は、海辺ニュータウンとして、事業所、工業施設、うみかぜ公園などの港湾緑地、住宅、商業施設が整備され、総合的なまちづくりが進められている。

浦賀地区は、かつて造船所が立地する工業地区であったが、遊休化した工業用地の海洋性リゾートへの転用が図られるとともに、平成15年には住友重機械工業の浦賀艦船工場が閉鎖された。

令和3年3月に横須賀市へ浦賀ドック周辺部の土地が寄付されたことを契機に民間企業と再開発計画を進めて新たな魅力ある港づくりを目指している。

久里浜地区は、水産品(冷凍マグロ)の輸入のほか、砂利・砂等の建材、廃土砂等、内貿貨物取扱港として利用されている。また、千葉県浜金谷港間のフェリー航路が就航している。なお当地区は東京湾口部に位置し、船舶の輻輳する浦賀水道航路を通らずに利用できる地理的優位性がある。

### 〈将来計画〉

横須賀市は、「海洋都市」「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」「個性ある地域コミュニティのある都市」の3つをまちづくりの方向性として掲げ、「海洋都市」としては、可能性に溢れた横須賀の海を、最大限まちづくりに活用する様々な施策を展開している。

港湾においては、横須賀の持つ地理的優位性、歴史的遺産や良好な自然環境といった個性を活かし、地域はもとより、首都圏経済の活力の維持・向上に貢献することを目指している。

港湾計画では、東京湾口部の立地を活かし、高速海上物流に対応した内貿ユニットロード拠点の形成を図り、首都圏における国内物流の一翼を担うとともに、モーダルシフトの推進、他港との機能分担を踏まえた効率性の高い港湾施設整備、防災機能の強化などに取り組んでいく。

また、港湾の利用と調和を図りつつ海域環境の保全・再生を進めるとともに、人々が楽しめる海辺空間の創出のため、海洋性レクリエーション機能の充実などに取り組むこととしている。

## 2. 港勢

### 入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	68	1,643,531	34	1,210,714	13	330,460	3	19,758
内航商船	2,951	8,778,113			345	3,949,412	424	3,836,370
自航	3,795	16,902,920			297	4,794,570		
その他	7,336	3,092,066			17	247,500	37	295,950
合計	14,150	30,416,630	34	1,210,714	672	9,321,942	464	4,152,078

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	18	82,599	4	5,870	303	222,683	1,859	694,819
内航商船	16	68,959						
自航	3,498	12,108,350						
その他	248	1,053,194						
合計	3,780	13,313,102	98	178,845	479	347,932	8,623	1,892,017

最大入港船舶のトン数 45,144総トン(喫水10.6m)

### 海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	186,610	100.0							186,610	100.0
輸入	214,965	100.0	7,531	3.5					207,434	96.5
計	401,575	100.0	7,531	1.9					394,044	98.1
移出	2,995,647	100.0							2,381,493	79.5
移入	5,413,867	100.0	785	0.0			2,391,568	44.2	<b>3,646,760</b>	55.5
計	8,409,514	100.0	785	0.0			2,391,568	28.4	<b>3,272,215</b>	64.0
合計	8,811,089	100.0	8,316	0.1			2,391,568	27.1	5,778,340	65.6

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	239,167	8.0	26,604	0.9	56	0.0	348,327	11.6		
移入	18,711	0.3								
計	257,878	3.1	26,604	0.3	56	0.0	348,327	4.1		
合計	257,878	2.9	26,604	0.3	56	0.0	348,327	4.0		

太字は自動車航走船取扱貨物(外数)で、計及び合計に含まない

### 外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

### 乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	770,706	352,547	418,159
計	770,706	352,547	418,159

## 3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用面積 (㎡)	
(公 共)											
夏 島 新 港	岸 壁	4.5	120	700	1						
	1・2号 棧橋	5.5	180	2,000	2						水産品 自動車、フェリー扱貨物 水産品
	3号 棧橋	7.5	130	5,000	1						
	1号 岸壁	10.0	200	15,000	1						
	2号 岸壁	10.0	200	15,000	1						
	3号 岸壁	4.5	240	700	4						
	4号 岸壁	4.5	65	700	1						
平 成	1号 岸壁	4.5	120	700	2						
	2号 岸壁 (耐震)	5.5	270 (90)	2,000	3						
久 里 浜	岸 壁	6.5	220	3,000	2						砂利、砂 水産品
	長瀬 岸壁	4.5	140	700	2						
	1号 岸壁 (耐震)	7.5 ~ 9.0	260 (100)	16,000GT	1						
	2号 岸壁	5.0	80	1,000	1						
(私 設)											
住友重機械工業(株)	横須賀製造所 装岸壁	9.0	656	200,000 300,000	2						
	横須賀製造 所水切岸壁	6.0	60	700	1						
	浦賀工場 東岸壁	6.5 ~ 9.0	545	33,000	3						
湘南サニーサイドマリーナ(株)	岸 壁	5.0	47	1,000	1						
	中 突堤	5.0	33	700	1						
JERAパワー横須賀 合 同 会 社	B 岸 壁	5.0	100	1,000	1						石炭、窯業品 石炭、窯業品
	C 岸 壁	9.0	416	10,000	2						
	D 岸 壁	11.5	282	10,000	1						
日産自動車(株)	1・2号 棧橋	12.0	435	34,000 G/T	2						自動車
	3・4号 棧橋	7.5 ~ 10.0	260	15,000	2						自動車、自動車部品
	5号 棧橋	5.5	90	2,000	1						
	6号 棧橋	10.0	185	18,000	1						
(※ 国 研) 海洋研究開発機構	棧 橋	8.0	220	8,687GT	2						
第三管区 海上保安本部	5号 浮棧橋	5.0	60	-	2						
東京湾フェリー(株)	1・2号 棧橋	5.5	145	3,580GT	2						フェリー扱貨物
(株)トライアングル	本港1号浮棧橋	4.8	38	-	2						

※国立研究開発法人

保管施設			泊地			港湾関連施設	
区分	棟数	面積・容量	区分	水深(m)	面積(m <sup>2</sup> )	名称	延床面積(m <sup>2</sup> )
野積場	-	65,245m <sup>2</sup>	錨泊地	9.0以上	8,220,572 (9.0以上)	-	-
普通倉庫						臨港交通施設	
1～3類倉庫	-	-		7.5～8.9	142,328 (7.5～8.9)	名称	総延長(m)
危険品倉庫	-	-		4.5～7.4	576,246 (4.5～7.4)	臨港道路	12,495
野積倉庫	-	-		4.5未満	295,570	新交通・鉄道	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-	はしけ溜	-	-	ヘリポート	-
冷蔵倉庫	-	-	木材投下泊地	-	-		
水面倉庫(貯木場)	-	-	危険物泊地	-	-		

#### 4. コンテナターミナルの概要

該当なし

#### 5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力					上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設
	陸域 (m <sup>2</sup> )	水域 (m <sup>2</sup> )	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)	固定 棧橋 (隻分)				
サニーサイドマリーナウラガ 〒239-0821 横須賀市 東浦賀町2-22-2 ☎046-843-4123	11,550	3,737	74	110	110	-	-	-	リフター 6t 1基 25t 1基	-	昭和59年	クラブハウス 修理施設 給油施設
シティマリーナヴェラシス 〒239-0824 横須賀市 西浦賀町4-11-5 ☎046-844-2111	245,850	53,381	380	342	120	-	222	-	200tクレーン 35tクレーン 12tクレーン (各1基)	5m	平成9年	クラブハウス 修理工場 給油施設 レストラン 管理棟
深浦ボートパーク 〒237-0062 横須賀市 浦郷町1-60 ☎046-865-4532	5,160	27,723	-	119	-	-	浮棧橋 99 係船浮標 20	-	-	3m	平成19年	-
浦賀ボートパーク 〒239-0821 横須賀市 東浦賀2-4-20 ☎046-844-8955	618	5,464	-	65	-	-	浮棧橋 65	-	-	3m	平成22年	-

#### 6. 緑地

区分 名称	面積(m <sup>2</sup> ) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
横須賀新港地区緑地	8,512	-	沿道緑地	昭和51年度	遊歩道	四阿
平成地区緑地	12,433	1,170	道路沿緑地	平成6年度	遊歩道	噴水、モニュメント
横須賀市立 海辺つり公園	23,148 (26)	517	修景緑地	平成3年度	海釣広場(ボードウォーク) 芝生広場	管理棟(1階トイレ・2階管理事務所、屋上、展望台) コンビネーション遊具、噴水
うみかぜ公園	52,506 (49)	460	シンボル 緑地	平成8年度	親水護岸、芝生広場 スポーツ広場	水の丘(噴水施設兼ステージ)、円形広場、展望デッキ、コンビネーション遊具、スケートボードエリア 3×3バスケットコート 壁打ちテニスコート マウンテンバイク走行路
横須賀市立 浦郷みなと緑地	2,715 (11)	-	休息緑地	平成9年度	広場	コンビネーション遊具
横須賀市立 西浦賀みなと緑地	6,298 (20)	652	歴史的環境 保全緑地	平成12年度	階段状ウッドデッキ 親水護岸	四阿
横須賀市立 久里浜みなと緑地	2,789 (15)	-	休息緑地	平成14年度	広場	コンビネーション遊具
横須賀市立 大津みなと緑地	353	-	休息緑地	平成20年度	広場	

## 7. 基地港湾

該当なし

## 8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種				
			一 般	港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸	は い し か だ
相模運輸倉庫(株)	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-861-3111	○		○	○	
相模船舶作業(株)	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-860-1550		○			
昌栄産業(株)	〒239-0831 横須賀市久里浜8-17-15	046-835-3300			○	○	
横荷企業(株)	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-861-4886				○	
(株)バンテック	〒237-0061 横須賀市夏島町2-23	046-865-5998	○				
住重横須賀工業(株)	〒237-8555 横須賀市夏島町19	046-869-1707				○	
山九(株)横浜支店	〒231-0811 横浜市横浜市中区本牧ふ頭9-88	045-622-3939			○	○	
日本通運(株)藤沢支店	〒247-0061 鎌倉市台1-1-6	045-212-7318 (横浜支店)				○	

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
東京湾	〒231-0023 横浜市中区山下町1番2パイロットビル	045-650-3180	146

(横須賀区は強制水先区)

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
東京汽船(株)横須賀支店	〒238-0004 横須賀市小川町27-17	046-826-3911	3,600×4 4,400×6	10

通船

名 称	所 在 地	電話番号	隻数
相模運輸倉庫(株)	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-861-5361	2

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
総合厚生	横須賀新港港湾労働者福祉センター	〒238-0005 横須賀市新港町13	046-826-3363

## 9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
東京出入国在留管理局横浜支局	〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町10-7	045-769-1720
横浜税関横須賀税関支署	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-861-1281
横浜検疫所横須賀・三崎出張所	〒231-0001 横浜市中区新港1-6-1 よこはま新港合同庁舎6階	045-201-4456 (横浜検疫所検疫衛生課)
横浜植物防疫所(業務部本船貨物担当)	〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内	045-211-7152
東京湾海上交通センター	〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内	046-225-9118
横須賀海上保安部	〒237-0071 横須賀市田浦港町無番地	046-861-8366
関東地方整備局東京湾口航路事務所	〒238-0005 横須賀市新港町13	046-828-8366
国土交通省国土技術政策総合研究所	〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1	046-844-5006
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所	〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1	046-844-5010
横須賀市港湾部	〒238-8550 横須賀市小川町11	046-822-8435
横須賀港ふ頭管理事務所	〒238-0005 横須賀市新港町13	046-874-9017

# 横須賀港

